

## 意見交換を通じた報道機関との連携促進

記者との意見交換を通じて、農林水産省の施策や取組を広く知ってもらうとともに記者と顔が見える関係を構築し、報道機関との連携を進め、農林水産施策の周知を推進する。

### ○ 施策分類

広報

### ○ きっかけ・背景、課題の把握

徳島県では新聞、テレビ等の報道機関の影響力が大きく、新聞記事等に取り上げられれば広く周知できるにもかかわらず、記者との関係が希薄であった。

このため、プレスリリースなどが記事として取り上げられる頻度を高めることを目的として、報道関係者と対面で会う機会を設けることとした。

### ○ 取組の内容

農政に関する情報提供を行うとともに、県拠点独自の取組（徳島県における産直市場調査プロジェクト）、時宜に応じたトピックスについて情報提供し、県内農業に関する記者の関心事項や、県内農業に関して意見交換を実施。

### ○ 効果・成果、今後の方向性

- ・ 県拠点独自の取組に関して、記者の関心が高く同取組の目的や方向性を整理・共有する有意義な機会となった。
- ・ ニュースレター等の構成や内容の有用性を高く評価され、記事化しやすい情報について記者から示唆を受けることができた。
- ・ 徳島県では新聞、テレビ等の報道が農林水産施策の周知には有効であり、今後も報道機関との連携を進め周知活動を推進していく。



意見交換の様子

ニュースレターが  
新聞に掲載



スマート新法に係る  
特集記事を掲載



新聞に掲載

記者に対する働き掛け

### 体制図

